

氏名:

注意！ 開始合図があるまで次ページ以降を見ないで下さい！

出題された詰将棋(1手詰~5手詰)を、制限時間内にどれだけ多く正確に解けるかを競います。成績上位者等に賞品を授与します。

- 問題は全部で30問です。
 - 第1問~第10問は3手詰で、最初の3問は三択問題です。
 - 第11問~第20問は5手詰で、最初の3問は三択問題です。
 - 第21問~第30問は1~5手詰で、中には不詰作品もあるかもしれません。
- 問題ごとに、問題図の下の解答記入欄に正解の初手のみ記入して下さい。
 - 三択問題は、正解と思うものを○で囲んで下さい。
 - 第21問~第30問は、不詰と思ったら「不詰」を○で囲んで下さい。
 - 解答を書き損じた場合は、二重線で消して書き直して下さい。
- 問題用紙兼解答用紙は、次のページから5枚あります(1枚あたり6問記載)。
- 問題はどれから解いても構いません。
- 解答時間は15分間です。開始と終了の合図は司会者が行いますので、司会者の合図があるまで始めないで下さい。
- 得点は各題とも、正解なら3点、不正解ならマイナス1点、記入なしの場合0点、とします。
- 終了後に正解を発表しますので、解答用紙を周辺の人と交換して、相互に採点します。
- 得点集計用紙に正解・不正解の数を記入し、得点を計算して下さい。

【第0問(例題)】 5手詰



(北原碧春『独楽の画』第8番)

【例題(5手詰)】

作意は、23飛右不成、11玉、12歩、同玉、13飛成までの5手詰です。よって、「23飛右不成」が正解です。(不成を生と略記しても可)

以下のような答は不正解です。

- ・23飛右 (成、不成の記載なし)
- ・23飛不成 (右、左の記載なし)
- ・13飛成 (最終手を答えている)

第0問解答(初手):

ここに「23飛右不成」と記入。